

「好きなTシャツはな～に?」(5時間扱い)

研究開発学校 小学校英語科カリキュラム 3年 Lesson 6

指導者 安彦 有里恵

1. 《単元について》

目標: 友達の好きなものをインタビューしながら、友達の作ったTシャツを当てる活動を通して、友達の興味・関心や好みは様々であることに気付かせる。また、既習の表現を場面に合わせて選んで使いながら、積極的に友達と好きな物を尋ねたり、自分の好きな物を伝え合ったりしようとする。

本単元では、子供が英語に関する知識や技能を身に付け、それらを活用しながら好きなものをインタビューし、友達の作ったTシャツを当てる活動を行う。この活動を通して、友達の興味・関心や好みは様々であることに気づき、相手意識を持ってコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

単元の開始期では、絵を見ながら店員さんとお客さんの会話を想像し、どんな会話の場面で学習していくか見直しをもつ。また、好きなものを尋ねたり、前学年までに習った色と動物と果物の単語を想起するため、カルタゲームの学習活動を計画する。単元の展開期では、好きな色や動物や果物の尋ね方と答え方を身に付けることができるよう、ペアでのロールプレイやグループでカルタゲームを行う。そして単元のまとめ期では、好きな物を尋ね、自分の好きな物を答えられるよう、友達の作ったオリジナルTシャツはだれのものかを当てる活動を設ける。そのために、自分の好きな物を話すことができるよう、自分の好きな物(色、動物、果物など)をいくつか選び、それらの描かれた自分だけのオリジナルTシャツ作りをする。これら一連の学習を通して、英語を繰り返し聞いたり話したりしながら、相手意識をもってコミュニケーションを図る中で、英語に関する知識や技能を身に付けていくとともに、言語を用いてコミュニケーションを図る大切さや多様なものの見方・考え方を認め合うことの大切さを学んでいくと考える。

2. 《小学校英語科における発達段階を踏まえた育成すべき資質・能力》

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)
小学校英語科 第3学年 及び第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 聞くことに関する知識・技能。 ○ 話すことに関する知識・技能。 ○ アルファベット大文字・小文字を識別し、単語等を声に出して読むこと。 ○ アルファベットや単語等を正しく書き写すこと。 ○ 言葉の仕組みへの気付き。(音、単語の綴り等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近なもの・ことを表す語句や表現に加え、自分の好み、気持ち、身の回りのもの・こと等を表す簡単な語句や表現を使って、友達に質問したり、質問に答えたりするコミュニケーション能力。 ○ 聞いたり声に出して読んだりしたことを活用して、話したり書き写したりして伝えるコミュニケーション能力。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさや言語を用いてコミュニケーションを図る大切さを知り、相手意識を持って英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度。 ○ 日本と外国の言語や生活、習慣、行事等の文化について比較しながら、共通点や相違点に気付き、多様なものの見方や考え方を認め合う態度。

3. 《育成すべき資質・能力を踏まえた単元の評価規準》

個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)
評価1	評価2	評価3
<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動で用いている物(色、動物、果物、食べ物など)を表す語句や、質問応答をするための定型表現を、聞いたり話したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の好きな物を伝えたり、友達の好きな物を英語で質問したりすることができる。 ○ 友達の好きな物を英語で質問し、それに対する答えを聞いてだれのオリジナルTシャツかを当てることことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達の興味・関心や好みは様々であることに気付き、進んで質問したり、質問に答えたりしようとする。 ○ 相手のコミュニケーションを図る姿や見方・考え方のよさに気付いている。

4. 《研究とのかかわり》

「三つの視点」を生かしたアクティブ・ラーニングの具体を以下に示す。子供が学びの連続性、必要性、関連性を自覚しながら学ぶことができるよう「学びの文脈のある単元を構想」する。その中に「必要感のある協同的な学びの設定」と「目的に応じた弾力的な振り返りの設定」を位置付ける。

(1) 学びの文脈がある単元を構想する ～単元のグランドデザイン～

	開始期	展開期		まとめ期	
	1	2	3	4	5 (本時)
開始期	<p>オリエンテーションを聞く。</p> <p>絵を見ながら、お店屋さんとお客さんになってのやり取りを想像する。</p>	<p>お店屋さんとお客さんのやり取りの学習の続きを行う。</p> <p>既習の単語を振り返る。(色)</p> <p>好きな色を質問したり答えたりするための定型表現を知る。 「What color do you like?」「I like ~.」の言い方を知る。</p>	<p>お店屋さんとお客さんのやり取りの学習の続きを行う。</p> <p>既習の単語を振り返る(動物と果物)</p> <p>好きな動物や果物を質問したり答えたりするための定型表現を知る。 「What animal (fruits) do you like?」(動物と果物) 「I like ~.」の言い方を知る</p>	<p>好きな動物や果物を質問したり答えたりするための定型表現 「What ~ do you like?」(色, 動物, 果物など) 「I like ~.」を振り返る。</p> <p>何枚か掲示した教師のオリジナルTシャツを見ながら、定型表現のやり取りを聞いて、どのTシャツが好きかを当てる。</p>	<p>好きな物を質問したり答えたりするための定型表現 「What ~ do you like?」(色, 動物, 果物など) 「I like ~.」を振り返る。</p> <p>好きな物をインタビューし、だれのオリジナルTシャツかを当てる。</p>
展開期	<p>好きな色, 動物, 果物を質問したり答えたりする学習計画を立て, 単元の見通しをもつ。</p>	<p>ペアで「What color do you like?」「I like ~.」を使ったやり取りをする。</p> <p>定型表現を使ったカルタゲームを繰り返す。</p>	<p>ペアで「What animal (fruits) do you like?」「I like ~.」を使ったやり取りをする。</p>	<p>自分の好きな物を表すオリジナルTシャツを作る。</p>	<p>友達の好きな物を聞いたり, 自分の好きな物を言ったりして, だれのオリジナルTシャツなのかを当てる。</p> <p>様々な友達との交流の場の設定</p>
まとめ期	<p>振り返りカードに, うれしかったこと, わかったこと, 次にやってみいたいことなどを記入する。</p> <p>・ 視点に沿った学習活動の振り返りとその内容の交流 ・ 学習成果の実感</p>				

必要感のある協同的な学び

目的に応じた弾力的な振り返り

(2) 必要感のある協同的な学びを設定する

- グループでカルタゲームをし, ゲームを通して英語を使って質問したり答えたりする場を保障する。
- オリジナル T シャツを尋ね, 誰の物かを当てる活動を通して, 英語の言い方を身に付けることができ, いろいろな友達の考えやよさに気付くことができると考える。
- 友達のオリジナル T シャツを尋ね, 当てるとい活動を通して, 友達がどんな物が好きなのか興味を持ち, インタビューする必要感を持ちながら会話すると考えられる。

(3) 目的に応じて振り返りを弾力的に設定する

- 振り返りカードを活用し, 子供が成果や次のめあてを明確にできるようにする。
- 振り返りカードの記入から, 子供の必要感を見取り, 次の学習を展開できるようにする。
- 友達との振り返り内容の交流を通して, 自分の学習についても振り返り, わかったこと等を共有したり, 次の学習につなげたりすることができるようにする。

5. << 単元計画 >>

	学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
開始期 (1時間目)	<p>【1時間目】</p> <p>○ 店で T シャツを買おうとしているお客さんと店員の絵を見て、英語でどのような会話をしているか考え、学習計画を立てる。</p> <p>T シャツを買おうとしているね。「ください」と言っていると思う。</p> <p>自分が外国に行ったとしたら、こういう場面はあるかもね。</p> <p>単元課題 自分や友達の好きなものを英語で話したり、尋ねたりしよう。</p> <p>絵を見ると、色・動物・果物が T シャツにかかっているね。それをもとに店員さんが尋ねているよ。</p> <p>自分も実際に買う時に、どう話せばいいだろう？</p> <p>何かよい方法がないかなあ。</p> <p>なるほどカルタをすれば楽しくたくさんわかるね。</p> <p>何度も英語を聞いたり話したりしていると、自然に自分でも話せるようになってくるね。</p> <p>そうだよ。何回もカルタをすればたくさんの英語を話したり、尋ねたりできそうだよ。</p>	<p>☆ これからの単元の見通しを持つことができるよう、事前に必要なアンケートをとる。</p> <p>☆ 学習内容への興味・関心を喚起し、単元のゴールとなる課題を見出すことができるような教材を用意する。</p> <p>☆ 主体的に学習を進めていくことができるよう、絵から考えられる会話を想像する。</p> <p>☆ 単元学習の見通しを持つことができるよう、課題を提示する。</p> <p>☆ 自主的・主体的に学習計画を立てられるよう、友達の気付きや言葉を大切に促すよう促す。</p> <p>☆ 定型表現を使いながら、グループで行うことができるよう、カルタゲームを行う。</p>
	<p>展開期 (2～4時間目)</p> <p>【2時間目】</p> <p>課題 好きな色を質問したり答えたりするための英語を使って、カルタをしよう。</p> <p>○ グループでカルタゲームをする。</p> <p>好きな色は何か質問してその答えを聞いて、それに合ったカードをとろう。</p> <p>カルタを続けていくと、質問や答え方にも慣れてきたよ。</p> <p>○ 本時の学習の内容を振り返り、交流する。</p> <p>好きな色を英語で答えることができたよ。</p> <p>今度は好きな動物も果物も質問したり答えたりしたいね。</p> <p>【3時間目】</p> <p>○ お店の店員さんとお客さん役になり、好きな動物や果物を尋ねられた場面を考え、質問や答えを考える。</p> <p>昨日は好きな色の尋ね方や答え方をおぼえたね。</p> <p>今日は好きな動物や果物の尋ね方をおぼえてみたいね。</p> <p>好きな動物や果物を尋ねる時は、なんて言えばいいの？色のときとちがうの？</p> <p>課題 好きな果物や動物などを質問したり答えたりするための英語を使って、カルタをしよう。</p> <p>好きな果物や動物を尋ねるための英語は、色のときとそっくりだね。</p> <p>ちがうのは color が fruit や animal になっているところだね。</p>	<p>☆ これまでに習った色を表す英語を想起することができるよう、色を表す絵を提示する。</p> <p>◇ これまで習った色の単語を聞いたり、話したりしている。 評価1</p> <p>◇ グループでのカルタゲームを通して、好きな果物、動物、色の単語の意味や、What color do you like? の質問の仕方がわかる。 評価1</p> <p>☆ <u>好きな色を尋ね合うことに興味を持ち、英語を繰り返し聞いたり話したりできるように、カルタゲームの活動を設定する。</u> 【必要感のある協同的な学び】</p> <p>☆ 好きな色を質問したり、好きな色を答えたりすることができるよう、必要となる定型表現を教える。</p> <p>☆ 自主的・主体的に学習に取り組むことができるよう、カルタゲームの仕方を提示する。</p> <p>◇ これまで習った物(動物、果物)の単語を聞いたり、話したりしている。 評価1</p> <p>☆ これまで習った動物や果物を表す英語を想起することができるよう、動物や果物の描かれている絵を提示する。</p> <p>◇ グループでのカルタゲームを通して、好きな果物や動物を質問したり答えたり、答えに合うカードを選んだりしている。 評価2</p> <p>☆ <u>好きな色を尋ね合うことに興味を持ち、英語を繰り返し聞いたり話したりできるように、カルタゲームの活動を設定する。</u> 【必要感のある協同的な学び】</p>

じゃあ、好きなスポーツを質問するときは…きっと What sport do you like?だよ。

- グループでカルタゲームをする。
- 本時の学習の内容を振り返り、交流する。

色や動物だけでなく他の事の質問の仕方もあるかな。

最初に見た店員さんやお客さんのような会話ができそうな気がしてきたよ。

T シャツ屋さんの準備もしたいね。

【4時間目】

課題 オリジナルTシャツを作り、自分の好きな物を言えるようにしよう。

- 何枚か掲示した教師のオリジナル T シャツを見ながら、定型表現のやり取りを聞いて、どの T シャツが好きかを当てる。

質問と答えの内容をよく聞こう。

色は青が好きで、動物はねこが好きなのか。あとは好きな果物がわかればどれかわかるよ。

果物はいちごが好きなんだって…ということは先生の好きなものが全部描かれている T シャツはあれだ。

- 本時の学習の内容を振り返り、交流する。

早く T シャツの持ち主の当てっこをしたいな。

～君は野球が好きだから、きっと T シャツにもバットを描くよ。

【5時間目】

課題 好きな物をインタビューし、だれのオリジナル T シャツかを当てよう。

- 何枚か掲示した教師のオリジナル T シャツを見ながら、教師同士のやり取りを聞いて、どの T シャツが好きかを当てる。

好きな物を質問して、その答えを聞けば、誰の T シャツか当てることができるね。

友達の好きな物をたくさん聞いて、たくさんの T シャツの持ち主をあてたいな。

- 友達に好きな物をインタビューし、だれのオリジナル T シャツかを当てる。

わたしの好きな色は黄色だから、好きな色を質問されたら I like yellow. と答えればいいんだ。

T シャツにハムスターの絵がかかっているね What animal do you like?と尋ねよう。I like hamsters. と答えてくれるかな

～君は野球の他にハムスターも好きなんだね。

- 本時の学習の内容を振り返り、交流する。

友達の T シャツを当てることができてよかった。

What color do you like?の尋ね方と答え方がわかった。

友達のおかげで卓球は table tennis という英語だとわかった。

自分ことを表したり伝え合ったりできるって Nice!だよ。好きな物以外でも同じようにできそうだね。

本時

まとめ期(5時間目)

☆ 英語を使って好きな果物や動物の質問や答え方を話すことができるよう、必要となる定型表現を教える。

☆ 自主的・主体的に学習に取り組むことができるよう、カルタゲームの仕方を提示する。

☆ 達成感や自己有用感をより感じられるよう、振り返りの場面で、課題と照らし合わせた学習の成果のフィードバックを行う。【目的に応じた弾力的な振り返り】

☆ 学習内容への興味・関心を喚起し、活動の見通しをもつことができるよう、定型表現を使った会話を提示する。

◇ 教師同士の会話を聞いて、どの T シャツのことを指しているか判断している。

評価2

☆ どの T シャツのことを指しているのか判断することができるよう、前時までに使用している語句や定型表現を活用している会話モデルを提示する。

◇ 自分のオリジナル T シャツに描かれている色、動物、果物等を英語で話すことができる。

評価1

☆ 自分のオリジナル T シャツに描かれている色、動物、果物等を英語で話すことができるよう、教師が机間支援をしながら好きな物について質問していく。

☆ 達成感や自己有用感をより感じられるよう、振り返りの場で、課題と照らし合わせた学習の成果のフィードバックを行う。【目的に応じた弾力的な振り返り】

☆ 課題に意欲を持ち、好きな物について英語で表現していくことができるよう、オリジナル T シャツを当てるという課題を提示する。

◇ 友達に好きな物を尋ねたり、自分の好きな物を話したりして、どの T シャツが誰の物かを当てている。

評価2

☆ 友達との会話を意欲的に行うことができるよう、オリジナル T シャツのインタビューを通してたくさんの友達と交流するよう促す。

【必要感のある協同的な学び】

◇ コミュニケーション活動を通して、友達の見方や考え方のよさがあることに気付いている。

評価3

☆ 達成感や自己有用感をより感じられるよう、振り返りの場面で、課題と照らし合わせた学習の成果のフィードバックを行う。【目的に応じた弾力的な振り返り】

本時の目標

友達の好きな物を聞きながら、誰のオリジナル T シャツのことを指しているのか当てる活動を通して、友達の興味・関心や好みは様々であることに気づき、積極的に友達と好きな物を伝え合おうとする。

学習活動 (○) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
<p>○ Warm up をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>体を動かしながら英語の歌を歌うと楽しいね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>アルファベットの形は大文字とはちがいがああるね。何のアルファベットがなくなったのかな。</p> </div> </div> <p>○これまで学習したことをふりかえる。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>課題 好きな物をインタビューし、だれのオリジナル T シャツかを当てよう。</p> </div> <p>○ 何枚か掲示した教師のオリジナル T シャツを見ながら、教師同士のやり取りを聞いて、どの T シャツが好きかを当てる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>質問と答えの内容をよく聞こう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>色は赤が好きで、動物は犬が好きなのか。あとは好きな果物がわかればどの T シャツかわかりそう。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>果物はりんごが好きなんだって…ということは先生の好きなものが全部描かれている T シャツはあれだ。</p> </div> <p>○ 友達に好きな物をインタビューし、だれのオリジナル T シャツかを当てる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>わたしの好きな色は黄色だから、好きな色を質問されたら I like yellow. と答えればいいん</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>T シャツにハムスターの絵がかかっているね What animal do you like? と尋ねよう。I like hamsters. と答えてくれるかな</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>～君は野球の他にハムスターも好きだったんだ。</p> </div> <p>○ 本時の学習の内容を振り返る。 (振り返りカードに記入し、全体交流する。)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>友達の T シャツを当てることができてよかった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>What color do you like? の尋ね方と答え方がわかった。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>友達のおかげで卓球は table tennis という英語だとわかった。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>自分ことを表したり伝え合ったりできるって Nice! だよ。好きな物以外でも同じようにできそうだね。</p> </div> </div>	<p>☆ 英語の学習に意欲的に取り組めるよう、会話や歌を取り入れたり ICT 教材を使用したりする、計画的な Warm up を設定する。</p> <p>☆ 課題に意欲を持ち、好きな物について表現していくことができるよう、オリジナル T シャツのインタビューをしながら、誰の物が当てるとい課題を提示する。</p> <p>☆ 教師同士の会話の中から、相手の選んだ好みについて会話で知ることができたことを Good. や Nice. 等の表現で反応していることに気付かせる。</p> <p>◇ 友達に好きな物を尋ねたり、自分の好きな物を言ったりして、どの T シャツが誰の物かを当てている。 評価 2</p> <p>☆ たくさんの友達との会話を意欲的にできるよう、交流のルールや目的をもって取り組むようにする。</p> <p>☆ <u>友達との会話を意欲的に行うことができるよう、オリジナル T シャツのインタビューを通してたくさんの友達と交流するよう促す。</u> 【必要感のある協同的な学び】</p> <p>☆ 友達の好みに対して感想を表す表現を選択し、友達に話すことができるよう、Good, Nice 等が書かれたほめ言葉リストを掲示しておく。</p> <p>◇ コミュニケーション活動を通して、友達の見方や考え方のよさがあることなどに気付いている。 評価 3</p> <p>☆ <u>達成感や有用感をより感じられるよう、振り返りの場面で、課題と照らし合わせた学習の成果のフィードバックを行う。</u> 【目的に応じた弾力的な振り返り】</p>